

会 議 録

会 議 名	川西市社会福祉施設等に係る指定管理者管理運営評価会議			
事 務 局	福祉部 地域福祉課			
開催日時	令和7年11月21日(金) 9時30分～12時00分			
開催場所	川西市役所 地下1階 B03会議室			
出席者	委 員	吉岡、横田、篠木、高詰、坂本		
	その他	社会福祉施設等6指定管理運営者		
	事務局	福祉部長	船木	
		地域福祉課長	曾我	地域福祉課 藤原 加藤
		障害福祉課長	齋藤	障害福祉課主管 尾屋
こども支援課長		鈴木	こども支援課 浮城	
	こども政策課長	野田	こども政策課 坂本 瀧田	
傍聴の可否	可	傍聴者数	0人	
会 議 次 第	1. 開会 2. 協議事項(社会福祉施設等6施設について) 3. 閉会			
会 議 結 果	別紙のとおり			

冒頭挨拶

【司会】皆様、こんにちは。定刻が参りましたので、川西市社会福祉施設にかかる令和 6 年度指定管理者管理運営評価会議を開会させていただきます。わたくしは本日司会を務めさせていただきます。地域福祉課の藤原と申します。 よろしくお願いいたします。本日は、ご多忙のところ、お集まりいただき誠にありがとうございます。また今回指定管理者管理運営に関わる評価をお願いいたしましたところ、快くお引き受けいただき、お礼を申し上げます。それでは、開会にあたりまして、川西市福祉部長の船木よりご挨拶申し上げます。

【事務局】おはようございます。川西市福祉部長の船木です。評価者の皆様、お忙しいところ管理運営評価会議にご出席いただきまして、ありがとうございます。本日は指定管理制度を導入しております本市の福祉施設の令和 6 年度の施設管理運営状況について、ご評価をいただきたいと思っております。本日ご評価いただく 6 施設は、川西市社会福祉協議会に指定管理者として、管理運営を担っていただいておりますが、この評価会議は指定管理者の管理運営が施設の設置目的を達成しているか、市民サービスの向上や経費の節減が図られているかどうかについて検証し、問題があれば適切に改善することを目的に毎年実施されているものでございます。より市民満足度の高い施設にすることを目的としておりますので、忌憚のないご意見をお聞かせいただけたらと思っております。本日は長時間にわたる会議となりますが、よろしくお願いいたします。

出席者紹介

【司会】それでは本日お集まりの評価者の皆様方のご紹介をさせていただきます。社会福祉法人キリスト教ミード社会館理事長の吉岡様です。続きまして、税理士の横田様です。続きまして、川西障害者団体連合会会長の篠木様です。続きまして、指定管理者であります社会福祉協議会の出席者の方の自己紹介をよろしくお願いいたします。

【指定管理者】社会福祉協議会常務の作田と申します。よろしくお願いいたします。

【指定管理者】事務局長の高田です。よろしくお願いいたします。

【指定管理者】次長の今西です。よろしくお願いいたします。

【指定管理者】小戸作業所・川西作業所の施設長をしております、松山です。よろしくお願いいたします。

【指定管理者】小戸作業所でサービス管理責任者をしております辰濱（たつはま）と申します。よろしくお願いいたします。

【指定管理者】川西作業所でサービス管理責任者をしております辻森（つじもり）と申します。よろしくお願いいたします。

【司会】次に障害者施設担当の担当課職員を紹介します。障害福祉課長の齊藤でございます。

【事務局】障害福祉課長の齋藤です。よろしくお願いいたします。

【司会】続いて障害福祉課主管の尾屋でございます。

【事務局】障害福祉課の尾屋です。よろしくお願いいたします。

【司会】次に事務局職員を紹介いたします。地域福祉課長の曾我でございます。

【事務局】地域福祉課長の曾我です。よろしくお願いいたします。

【司会】続きまして地域福祉課の加藤でございます。

【事務局】地域福祉課の加藤です。よろしくお願いいたします。

【司会】なお事務局では、記録用として、会議の録音をさせていただきたいと考えておりますので、ご了承いただきますよう、よろしくお願いいたします。

小戸作業所

【司会】 それでは障害者施設の評価の議事に入りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。なお、本日は評価会議と題して開催しておりますが、会議という堅苦しいものではなく、日頃の施設運営に対する意見交換会として、考えていただきたいと思っております。各評価項目に対し、忌憚のないご意見をよろしくお願いいたします。 それでは評価項目に沿って、まず小戸作業所の評価をしまいたいと思います。

1-1

【司会】 まず 1、小戸作業所の評価の 1、施設の設置目的の達成に関する取り組みのうち、施設の設置目的である事業運営の達成、1 から 3 についていかがでしょうか？

【評価者】 1-1①のところですが、一次評価の方が令和 6 年度からサービスの移行が行われるということで、質の向上が図られていくというふうにコメントいただいているんですが、具体的にどのような質の向上が図られたのか教えて頂いてもよろしいでしょうか。

【事務局】 ここにも少し書かれておりますけれども令和 5 年度 10 月から小戸作業所は元々生活介護と就労という 2 つの事業を運営していただきました。その運営の形態をかえささせていただいて、小戸作業所を生活介護だけ中心にやっていただくようにしております。その中で、特に市外で市内でなかなか強度行動障害の方を受け入れできない部分を小戸作業所に担っていただいているという状況です。その部分は改善していただいて、我々としては、評価しているところです。

【評価者】 具体的にサービスとしては送迎というサービスがございますでしょうか。

【事務局】 生活介護については送迎はやっていただいております。入浴に関してはこの施設ではやっておりません。ひまわり荘でさせていただいております。

【司会】他に 1-1 で何か意見ありますでしょうか。

【評価者】 改善内容のところに、令和 7 年度中にサービス提供時間を延ばし、利用率と単価を上げます、またホームページなどウェブの広報活動も取り入れますと言っているんですが、具体的に令和 7 年度・・・評価は 6 年度ですが、令和 7 年度については書いていただいております。進捗状況はいかがでしょう。

【指定管理者】 10 月から時間を 9 時からに変更しております、7 時間利用をさせていただくという形をとらせていただいております。利用者の方は今までの生活習慣がおありなので、すぐにそこにいくことは難しいんですけれども、協力いただいて、徐々に 9 時から来ていただくようにしております。

令和 7 年度 4 月から新規利用者の受け入れができるようになりまして、今で 40 名いらっしゃってます。ウェブに関しては、ホームページに載せていこうと考えていたんですが・・・これからやるところでございます。

1-2

【司会】 1-2 施設の利用状況及び事業への参加状況についてご意見ある方いらっしゃいますでしょうか？

【評価者】 参考までですが 1-2①の既存の行事に加え新たに屋内夏祭りを実施されたというのは素晴らしいなと思いました。なかなか普段の行事プラス、改めて感染対策もした上でこのような行事をされるのは素晴らしいなと思いましたし、また個別でパーティションスペースを作っておひとりおひとりのこの状況、個別ケアをやっておられることは素晴らしいと思いました。

1-3

【司会】 利用者の満足度についてご意見ある方はいらっしゃいますでしょうか。

【評価者】 アンケートの結果をしっかりと取り入れていらっしゃるの素晴らしいなとおもいました。

2-1

【司会】経費の節減についてご意見ある方はいらっしゃいますでしょうか。

【評価者】2-1①の水漏れなんですけど、具体的に老朽化が原因だったのか違う原因だったのか。

【指定管理者】老朽化が原因でした。漏れてる箇所を特定するのにすごく時間がかかった。最終的に中庭の箇所でもれてるのがわかった。全部わかって工事が終わったのが12月末でした。水漏れの状態が続いたんですが今は対応しておりますので水漏れはないです。

【評価者】その費用は按分というか、川西市にちょっともっていただいたとかあるんでしょうか。

【指定管理者】実際には6期分漏れていたんですが2期分に関しては減免されていました。

2-2

意見なし

2-3

意見なし

3-1

意見なし

3-2

【司会】法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用などについてご意見ある方はいらっしゃいますでしょうか。

【司会】特にないでしょうか。横田先生、決算書の内容等で確認したい点はないでしょうか。

【評価者】小戸作業所単独というよりは、川西作業所をトータルでみていかないとだめだと思います。小戸作業所だけでみると厳しいが、トータルで考えると問題はないのかなと判断します。

総合評価

意見なし

川西作業所

1-1

【司会】まず川西作業所の1-1施設の設置目的である事業運営の達成についてご意見ある方いらっしゃいますでしょうか？

【評価者】目標工賃達成指導員を配置し、目標工賃の達成することができたというコメントが書いてあって具体的に素晴らしいなと思いました。もしよければどのような取組みをされたのか教えていただきたいです。

【指定管理者】令和5年度9社の企業様と取引させていただいたんですけど作業製作のところで利用者さんが関わるのが少ない作業に関しましては、お取引を中止という形をとりまして、また多くの利用者さんが関わる作業の量を増やすことで、工賃収入の増加につながっております。利用者さんのおひとりおひとりのご意向をお伺いしつつ、その方に合わせた自職を作成することで、多くの作業に取り組んでいただけるような体制をとりました。令和5年度の平均工賃の実績としましては39,674円だったんですけども、令和6年度の目標は40,198円と目標をたてさせていただきました。それに対して実績として42,671円実績をあげることができています。ま

た令和7年度に関しましては、さらなる向上を考えておりました、48,693円を目標としております。職員も各企業毎の前年度の金額に対して今年度はこの目標でやっていきたいと思いますとか、昨年度の4月はこの金額だった、今年度の4月はこの金額でしたと、月ごとに比較して少しでも増やそうと日々努力しております。利用者様に関しても、毎月の平均工賃だったりとか、その月のトータル金額を掲示することで、利用者さんお一人お一人に意識を持って取り組んでいただくよう努力しております。

【評価者】ありがとうございます。色々分析等ご利用者に関わっていただいたことがよくわかりました。

【司会】他にご意見ある方いらっしゃいますでしょうか。

【評価者】利用率がずっと上がってきておられるんですけど、取組みとして変わったところとかプラスアルファされたことがあれば教えてください。

【指定管理者】利用率に関しましては、令和5年度10月に小戸作業所の就Bとかがございまして、従来の小戸作業所の利用者さんは、ほぼ毎日通所されている状況で、その方達が来てくれているということで、利用率の増加にはつながったかなと思います。また川西作業所の従来の利用者さんに関しても、その方の特性や身体状況により急なお休みがあった場合は、明日明後日でも良いという調整をしています。特性により一日通して、或いは1週間作業するのは難しい方もいます。例えば腰に持病がおりの方で、1週間通所は難しいけれど週3日だったらできるよという方に関しては月水金にする。でもその方が月曜日腰痛で難しいという場合は、振り替えて別の曜日に変更するなど、柔軟にお声がけをさせていただいています。

【評価者】ありがとうございました。

1-2

意見なし

1-3

【司会】1-3 利用者の満足度についてご意見ある方はいらっしゃいますでしょうか。

【評価者】去年から3障害の移行とか受け入れが始まったということがありますが、難病の方とか具体的にはいらっしゃるのでしょうか。

【指定管理者】難病の方、筋ジスの方とかもいらっしゃいます。以前もいらっしゃったんですけど、おやめになった方もいらっしゃいます。現在も利用はされてるんですけど、やはりそこは手指の動きだったりとかというのは、進行性の障がいなのでいらっしゃいます。

【評価者】受け入れを拒否ではなくて？

【指定管理者】それはありません。

【評価者】医療的ケアが必要な方はいかがでしょうか。

【指定管理者】医療的ケアが必要な方に関しては、こちらではどう対応ということは難しいんですけども、その方に対して何が必要なのか聞き取りしたうえで、関係機関と連携をとり、医療的処置をしていただくなどの対応はとっております。

【評価者】吸引や経管なんかも利用中にしていただけるというかんじでしょうか。

【指定管理者】吸引が必要な方は今はいらっしゃらないです。

【評価者】わかりました。医療的ケアが必要な人は現在は受け入れていておられますか。

【指定管理者】受けていません。

【指定管理者】そこは小戸作業所と川西作業所のあれをちゃんと説明しないと。

【評価者】川西作業所だけしてくださってる？

【指定管理者】医療的ケアとかに対しては対応出来ないかたちです。小戸作業所に関しても医療的ケアというの

は対応できなくて、医療的ケアが必要な方はひまわり荘に連携いただいているかたちになります。

【評価者】 ひまわり荘と連携ですね、わかりました。

2-1

【司会】 2 効率性の向上に関する取組みというところで 2-1 経費の節減ご意見のある方いらっしゃいますでしょうか。

【評価者】 業者に依頼しても受けてもらえないというのはどんな状況なのか。金額的なものなのか？

【指定管理者】 例えば点検業者を探したときに、お願いしても「どうせうち落ちないでしょ」みたいな感じで来ていただけなかったり、今回は何とかつながったんですけど、本当に連絡入れても来て頂けないことが本当に多くて。来ます来ますっておっしゃってもなかなかきいていただけない。見積もりあげるだけで終わってしまうっていうのを向こうも分かっておられたりするんで、後回しになるんだと思うんです。色んな業者さんに見積もりを出してもらうのはすごく大変で、普段関わっているところはあげてくれますが、専門的なところになると探すのがとても大変な状況です。インターネットとかで探すのですが、なかなか良いお返事がいただけない状況です。

【評価者】 行政は一覧を作るべきだと書いてあるんですけどサポートとかあるんですか？

【事務局】 市内市外含めて登録業者一覧表がございますので、その中で必要に応じて情報提供させていただくことはできます。

2-2

【司会】 収入の増加についてご意見ある方

【評価者】 先ほども申し上げましたが、工賃収入が 300 万円増加し目標工賃を達成できたということは素晴らしいなと思います。

2-3

意見なし

3-1

意見なし

3-2

【司会】 法令順守、個人情報保護、安全対策、危機管理体制、平等利用などについてご意見ある方はいらっしゃいますでしょうか。

【評価者】 3-2①年に 1 回の内部監査を受け、監査内容を事業所の運営に生かしていますというコメントを書いて頂いているのですが、具体的に何らかの指摘事項はあったのでしょうか。

【指定管理者】 令和 6 年度は、内部監査については指摘事項はなかったです。内部監査をすることで気持ちも引き締まります。

総合評価

意見なし

ひまわり荘

【司会】 引き続きひまわり荘についてですが、施設の担当者が体調不良ということで社会福祉協議会の担当の方が代わりに対応させていただくということです。ではひまわり荘の評価に移らせて頂きます。

1-1

【司会】まず 1-1 施設の設置目的である事業運営の達成についてご意見ある方いらっしゃいますでしょうか？

【評価者】現在定員は何名なんですか。

【指定管理者】20 名となっております。

【評価者】その中の利用状況は具体的に？

【指定管理者】登録は 16 名程度いらっしゃるんですけども実際利用されているわけではございませんので、平均すると一日 6 名から 7 名程度の利用になっております。夏場とか冬場とか季節によっても色々あるんですけども、延べにするとそれくらいの数字になっております。

【評価者】色々現状を踏まえて頂いて具体的に 1-1③川西養護学校在校生の定期的な実習の受入れや、在校生の保護者・教員等の見学会を実施することで、施設への理解を深め、利用者の獲得に向けて動いておられると思うのですが、これからどのような展開をしていくと利用者増になると考えておられるのでしょうか。

【指定管理者】ありがとうございます。書かせて頂いているように川西養護の卒業生の方々が新規の利用者ということで、1 本槍だったところがございます。それだけではなく多くの方が利用できるためのアイデアを色々出している最中ですが。例えば重度障がいですね、40 代の方が第二号被保険者だからということで、高齢者のデイサービスの時に施設と話をして行かれている場合に、より若い世代でなおかつ創作活動なんかも得意でできるような体制を整えていきながら、そういう方々がもっと自分らしくひまわり荘を使って頂けたらというようなこともアピールできるように、今新しい工夫をしようとしているところです。また、6 年度のことではないんですけども、入浴というニーズに対して我々はかなりこだわりをもっておりました。在宅ではなかなか叶えられない入浴ニーズに対して、できる限り、ご本人様をご利用したいという限りは、通所されたら必ず入浴していただくということを大切にできております。入浴の新たな機械を導入しまして、具体的に言うとナノミストバスという非常に細かい粒子で体を洗浄して、内面から温めて老廃物を排出させる。後はもちろん体は汗をかきますので、拭き取る、そういうことで清潔を保持しつつ、免疫力を高めましょうと。入浴加算をとれますので、現在その業者と打ち合わせをして、デモンストレーションを来月からしようと考えております。

【評価者】ありがとうございました。ぜひそれを強みとしていただければと思います。緊急一時利用というのはいかがでしょうか。日中での利用ということにならざるを得ないと思うのですが。

【指定管理者】一応緊急一時という体制は整えてはおるんですけども、実際の利用は全くないというのが現状になっています。市の方に登録をして頂いて、必要があれば利用というかたちになっておるのですが、現状ではないということになっております。

【評価者】生活介護という仕組みというところがあると思うんですが、泊まりということはやはり難しい現状なのではないでしょうか。

【指定管理者】ひまわり荘の隣には養護老人ホーム満寿荘というのがございますけれども、そちらの利用についてもまだ実際動いているわけではございませんが、利用の方につきましてはショートステイの必要性というものは高くなっていらっしゃいます。市外の方を利用されたりとか、色々な苦勞をされていらっしゃるの分かっております。市と連携して、今後市の施策としてもどうしていくのか、社協としても利用者のご意向をどうとらえていったらいいのかというところで、進めて行きたいと思っております。

【評価者】ありがとうございます。おっしゃっていただいた入浴や緊急ショートというのが、なかなか受け入れ先がないとおっしゃっておられる。将来的に何か検討いただければと思います。

1-2

意見なし

1-3

【司会】1-3 利用者の満足度について、ご意見ある方いらっしゃいますでしょうか？

【評価者】令和7年度のアンケートはもうされたんでしょうか。1-3①に令和7年度は外部ボランティア等を通じた地域住民との交流についてのアンケートを実施する予定だとありますが。

【指定管理者】アンケートにつきましては、どこに外出したいですかとか、毎日のサービスにどのようなことを入れていきたいかというようなアンケートを色々行っています。ご自身の意見が頂けない方につきましては、保護者の方に頂いています。また、すぐ取り入れられるものについてはすぐに取り入れ、検討が必要なものについては内部で検討しながら、取り入れに向けて準備等させていただいている状況でございます。

【司会】1-3 利用者の満足度で他に意見のある方いらっしゃいますでしょうか。

【評価者】コロナの前は保護者が見学とかできたんです。今はもう全くなくなってる。その時に一度お伺いしたときは二人くらいしかお母さんは来られていなかった。そういうのは復活できないでしょうか。

【指定管理者】コロナから数年たっています。施設に来ていただく保護者の方とかボランティアの方も一切途絶えてしまったという状況があります。コロナ前は一緒にひまわり荘を盛り上げて運営をしていただくというところがあったと思います。ここにつきましては、ボランティアの掲示を進めておりますし、もっともつご利用者の方と保護者の方にも一緒に来て頂いて盛り上げていただきたいという思いでございます。コロナ禍とは違う考え方で進んでいくと聞いておりますので、徐々にだとは思いますが、ご案内させていただけるとおもいます。

【評価者】結構私より10くらい下の世代は結構熱心で、そういう施設と一緒に入って「こんなことしてるんだ」ってすごく安心されるんじゃないかなって感じがします。

【指定管理者】ありがとうございます。所属の方に重々伝えておきます。

2-1

【司会】2 効率性の向上に関する取組みというところで、2-1 経費の節減について、ご意見のある方いらっしゃいますでしょうか。

【評価者】節制を積極的になさったということで、空調照明等で当初予算の20%減と書いて頂いております。猛暑の中20%減させたということが素晴らしいなというふうに思いました。今後も無理ない程度で、節制していただけたらなと思っております。

【評価者】空調設備の老朽化に対応ということなんですけど、これって予算的にはどれくらいかかりそうなんですかね。

【指定管理者】これについては、満寿荘と一体的な施設となっておりますので、毎年市の方にお聞きさせていただいています。満寿荘を今後どう維持していくかということも含めてのかたちになっておりますので、ひまわり荘単独でというような予算ではなかなか難しいことにはなっています。

【事務局】今話にありましたように満寿荘とひまわり荘は一体化しておるんですけれども、非常に老朽化しており、建築してから根本的な改修ができていません。これには数億単位の費用がかかってきます。ただ、この夏は満寿荘の事務所の故障したところが完璧にアウトになっていますので、これくらいは必要だということで市の方では来年度の予算協議を進めているところでございます。

【指定管理者】空調の機械に関しては、故障したときに見に来てくださった業者さんが、例えるならば30年前の車が車検切れの状態ですと、というような表現をされていました。それくらい厳しい状態です。

【評価者】市のこういう施設がそれくらい老朽化というかたちで、どっからどの施設をどのタイミングで直していったらいいのかというのが課題だと思うんですけど、こういうことに関してはどうなのでしょう、重点的にとか、優先してというかたちになるんでしょうか。

【事務局】私どもも市において要求する立場として、要求はしておりますが、色んな施設があり、全て昭和の終わりくらいに作ったので、一斉に老朽化しております。施設担当が見比べながら優先順位を付けてると思うんで

すが、実際には想定以上に老朽化が早くて対応が遅れたとっております。今年には施設の担当に現地を見てもらって、説明をしました。もう既にほとんどアウトになっているので、即急に手配をと話をしているところです。

2-2

【司会】収入の増加についてご意見ある方いらっしゃいますでしょうか。

【評価者】前にも少しコメントいただきましたが、川西養護学校在校生の体験学習を継続した結果といったところで、2名のご利用の方と締結できたとありますが、退所者が3名あって最終的な結果は収入減というふうな記載はあります。今後生活介護として、先ほどのコメントの中で医療的ケアの必要な方もひまわり荘で受け入れるというコメントをいただいたんですが、どのようなかたちで利用者を増やしていこうという考えか訊かせていただけますでしょうか。

【指定管理者】今検討させていただいているのは、先ほど局長が申した通りです。ただナノミストバスについても、予算要求している段階で、確実につく状況ではございません。3000万くらいの費用がかかるフルセットなんです。その財源として、第4土曜日に残業代として払っている職員手当から捻出することを考えています。1月に1回のことで、シフトを組めば残業にしなくても回るはず。そこで大体年間で250万くらいのお金が算出できそうです。そういったものを財源にして提案を市にしているところです。やはり川西養護学校の卒業生だけを対象にしたやり方は限界です。さらに重度障がいの方、そのナノミストバスは完全に介護者に身を全て任せる必要はありませんので、そういったことを納得できない利用者の方を集めるきっかけにもなると思います。先ほどデモの話がありましたが、こんないい物があるよというのを大々的に伝えていきたい。職員数に限界がある中、この機器を使うとかなり負担軽減を行えます。頭、髪を洗うのも2〜3分でシュ〜っとうするだけで綺麗になるという話も聞いておりますし、先日六甲の館の理事長さんもかなり前に導入されているという話を聞かせていただいております。もう1点考えないといけないのは、同じように月曜日から金曜日の開所が要るのかというようなことは今ちょっと思っています。例えば土日を開所して平日2日間を休みにする。そうすると今やっている民間さんと差別化できますので、その中で利用を促進することはできないか。これは民間事業者にもプラスになるはずですので、そういったことができないか考えております。ただ、総利用枠が30日、31日マイナス8という規程がございますので、その中で結局土日使った分平日使えないとなってしまうと同じことになります。この規程の突破をどう考えていくか、これは市の方にも相談を掛けているんですが、なかなかいい返事をいただけないという状況です。ここは一緒になって何か突破する方策もしくは施設が赤字になると結局指定管理料として市が補填しているわけです。どこにどういう経緯の出し方をするかだけの問題といえます。なのでそこは市の決断が必要かなと思っております。それは市当局の方にもしっかりと伝えながら、皆さんがよりこの施設を快適に使えるように工夫をしていきたいと思っております。そして先ほど篠木会長から言っていたいただいた保護者の見学の話、本当に申し訳ないと思っております。これも速やかに再開できるように話をしていきたいと思っております。ありがとうございます。

【評価者】こちらは看護師は配置なさっているのでしょうか。あとはPT、OTとか機能訓練士とかはいかがでしょうか。

【指定管理者】PT・OTについては常駐はさせておりませんので、非常勤で外部に委託している形になります。

【評価者】そこも1つの大きなことかなと思えました。今後の経過の中で社協という設置母体の中で共生型、放課後デイであったりとか、生活介護といったところも含めての共生かなと。

【指定管理者】共生型につきましては、まだ色々と研究を進めることができている状況がありますので、情報収集しながら取り組み方の話を進めていきたいと思っております。

【評価者】ありがとうございます。先ほど土日の稼働や、市と協議をしながらということ聞かせていただきましたので、今後の方向性とか共有をしながら進めていただければと思います。

【司会】2-2について他にになにかありますでしょうか。

【評価者】なかなか重度の方のショートステイとかはない。口実的にはひまわり荘のそばに作ることはできないことはないけれども、場所がないといわれている。絶対にニーズはあるし、大人気になるんじゃないかと思うんです。隣の満寿荘は古すぎてって市長さんもおっしゃっているのは分かっているんですけども、スタッフさんにしたら障がいのことをすごく見てくれている方たちで、病院じゃ無いけど「あ、じゃあ今夜夜勤じゃないけど、その担当で私が行ってあげる、知っている子だし」という感じでお世話をしていただけるのになあと本当に昔から思っていることで。ひまわり荘でみなさんが退出なさった後部屋が空いているわけだから。そこでそんなに大人数を見てもらおうとは思っていない、二人だけとかでいいから一泊泊まらせてもらえるだけですごいニーズが増えてくるんじゃないかと。月曜火曜はそこでお泊まりできるっていう。近くのハーモニーさんなんかはそうやって泊まっという、その次の日もその事業所で過ごして帰るっていう、すごい自然な、別に動かすことはないっていうのは、本当に昔から思っていることで訴えてきたんですけども。

【事務局】すみません、ご意見ですね、前からいただいております。市としてもずっと課題であって、どのように実現できるのかっていうのは、議論してきております。満寿荘についてもおっしゃるように古い施設ですので、本当にそこで受け入れしようと思うと、やはり安全に泊まっていただく必要がありますので、そういった課題を踏まえてどのようにしていくというのは考えていかなければならないのかなと思います。先ほど出ておりました行政の問題もありますけれども、そういった色々な課題を踏まえて社協と一緒に議論していきたいと思っております。また例えば他にそういう重度の障がいも受け入れできる短期入所を満寿荘以外でも実現できる方法を考えていきたいと考えております。

2-3

意見なし

3-1

意見なし

3-2

意見なし

総合評価

意見なし

川西さくら園

【司会】お待たせしました。続きまして川西さくら園の評価に移りたいと思います。改めまして評価者の皆様の紹介をさせていただきます。社会福祉法人キリスト教ミード社会館理事長の吉岡様です。続きまして、税理士の横田様です。続きまして、川西障害者団体連合会会長の篠木様です。続きまして、指定管理者であります社会福祉協議会の出席者の方の自己紹介をよろしくお願いいたします。

【指定管理者】社会福祉協議会常務の作田と申します。よろしくお願いいたします。

【指定管理者】事務局長の高田です。よろしくお願いいたします。

【指定管理者】次長の今西です。よろしくお願いいたします。

【指定管理者】さくら園園長の川瀬です。よろしくお願いいたします。

【指定管理者】川西さくら園の小西です。よろしくお願いいたします。

【司会】続きまして、担当課職員の方を紹介させていただきます。こども支援課長の鈴木でございます。

【こども支援課長】鈴木です。よろしくお願いします。

【司会】続きまして、こども支援課主査の浮城でございます。

【事務局】よろしくお願いします。

【司会】なお本日は評価会議と題して開催しておりますが、会議という堅苦しいものではなく、日頃の施設運営に関する意見交換会として、考えていただきたいです。それでは各評価項目に対し、忌憚のないご意見を願います。評価項目に沿って、川西さくら園の評価をしてみたいと思います。

1-1

【司会】まず 1-1 施設の設置目的である事業運営の達成についてご意見ある方いらっしゃいますでしょうか？

【評価者】1-1①のところなのですが、保育所等訪問支援実施数は昨年度より約4倍増え、平均月12回実施したというのは素晴らしいなと思いました。一方で1次評価の中では児童発達支援の利用者数は減少傾向とありますが、児童発達支援の利用者数が減少した理由について教えていただいてもよろしいでしょうか。

【指定管理者】川西さくら園が保護者同伴通園になっているんですけど、そこに引っかかる方が多くて、相談に来られても半日通園するのはしんどいと言われて他の園に変えられた方もいます。お仕事をされている方も多いので、一緒に来られるというのは難しかったんだと思います。

【評価者】保護者通園が原則基本ということなんですか。

【指定管理者】はい、そうです。

【評価者】今の社会の中ではちょっと厳しい状況ですね。

【評価者】自分の時代は一緒に過ごして、そこで同じ仲間、他の障がいの方も見ながらこども達も見ながら、でも親も同じ初心者でありながら、そこで親も学んでいけたんですよ。仕事をするのが当たり前となったご時世に、それを政治ができないし、難しいところですね。親の教育ができないまま小学校に行って、親も自由奔放な感じになる。これから大人になって施設に入る時も問題は出てくるだろうなど。特に小学校18歳までが優しい。昔は放課後デイなんてなかったから、いつも3時くらいにバス停で待って、養護学校のバスでって、こどもを育てた時代とは違う。6時くらいまで送ってもらえる。だけど18歳以上になったらちょっと訳が違うんだよって急に追い出されるので、すごい混乱なさるんじゃないかな。でその人たちはもうみんな仕事を持ってるので、受け皿側はそれを見越しながらしていかないと大変だろうなどと思います。

【評価者】その中で課題の方が1日平均25名でしたというところで、1日の出席者数を増やして収入増にするところが課題と書いていますが、具体的にどのような取り組みをしていくことになりますか。

【指定管理者】令和5年度もしているんですけども、一応保護者同伴通園なんですけど、お母さんと離れて過ごす日っていうのもつくっています。年齢に応じてなんですけど、年齢が高くなると週2回とか、お母さんに連れてきてはもらっているけど、過ごすのは先生とこどもだけという時間を作ったりとか。あとは毎日とは来られないけど、週1回だけという家庭もいらっしゃいます。

1-2

【司会】施設の利用状況及び事業への参加状況について、ご意見ある方いらっしゃいますでしょうか？

【評価者】定員は何名でしょうか。

【指定管理者】定員は30名です。

【評価者】1-2①の一次評価では、1日50人定員で受け入れできる規模でありながら、実際には30人定員という届出ですかね。規模的には本来は50人程度受け入れられる？

【指定管理者】去年度から30名に変更したんですけど、その前は定員50名だったんです。職員数は変更していないので、職員数的には受け入れはできます。

【評価者】施設が有効活用できるといいですね。本来は50名利用できる規模であるということですね。職員も減にしていけないということなんで、より多くの方を今後受け入れられるという解釈でよろしいでしょうか。

【指定管理者】この施設がまさに大きな課題なんです。今年度を見てもさまざまな取り組みをして、広くお子さんを受け入れようとしてくれているんですけども、実態は減少しています。大体1日の利用者数が2ポイントくらい下がっている。これは篠木さんもおっしゃっているような事情の中で、多分これからも変わらないだろうと思います。やはり仕事をしている親御さんをみれないと言っている限りは限界がある。市民ニーズをしっかりと見た上でのサービスになっているのかということ、何らかの工夫が必要だ、課題だと思っています。これは簡単に解決するようなものではありませんので、市と慎重に協議しながら、とはいえそんなに何年もかけてというような話じゃないと思いますので、なるべく早い内に形を示さないといけないと思っております。一方計画作成の今の動きですが、非常に増えてきています。その業務も担っているわけなんですけれども、その人手が足りない状況になっています。社会福祉士等の資格をもっている職員がおりますので、その職員を活用して計画相談の方の充実を図ろうとしています。ここに書いてないさっきからご評価いただいた地域を回る指導の方です。確かに4倍に数値が増えているんですけども、実はここに4人の職員が関わってます。4人に対して12件という状態で、これも決して褒められた状況ではないと私は判断しました。しっかりと療育をしてきたというのが施設の強みですので、各園にしっかりと広めていくという活動が、親子支援と別の状態として、これまでの経験を広く皆に提供するという姿勢を、絶対に捨てるはいけないと思っております。そちらの方にマンパワーは割いていくというかたちで今は考えております。最終的な形はもう少し要求させて頂いて、今居る人員を最大限有効に使って様々な効果をあげていきたいと考えております。

【評価者】ありがとうございます。今までの歴史の親子、ペアレントというかたちで残しつつ、これからの時代をどう捉えていったらいいのかということも模索をしながらというふうなご回答だったと思います。相談支援は実際何名で行っておられるのでしょうか。

【指定管理者】相談支援専門員が8名です。

【評価者】大体1人当たり何名担当されているのでしょうか。

【事務局】相談支援の受け入れ人数は約900件ですので、8で割ったら大体110弱くらいかなと思います。

【評価者】ありがとうございます。110でしたらなかなか大変な状態かと思います。その数で個別の相談に加え毎月モニタリングもあれば、2ヶ月3ヶ月6ヶ月もある中で、必要に応じてなさっていることと思います。

1-3

意見なし

2-1

意見なし

2-2

【司会】収入の増加についてご意見ある方いらっしゃいますでしょうか。

【評価者】今までの流れで、この収入増になる対策を考えて頂ければと思います。

2-3

意見なし

3-1

【司会】3-1 管理運営の実施状況について、ご意見ある方はいらっしゃいますでしょうか。

【評価者】職員の残業時間ってどれくらいでしょうか。3-1③の一次評価で、人件費コスト等の削減にも評価されたいということですので、何か時間外の目標などがあるのかなと。

【指定管理者】この夏に働き方改革の方針を職員にしっかりと話をしまして、その取り組みもやっております。社協全体の話で大変申し訳ないですけど、対前年度比で50%くらい減っています。8、9、10月の実績で全ての月で半減しています。さくら園の方では全体平均以上に取り組んでくれました。相談の方は、そういう状況ですので。ただ園活動の方は対前年度比で3割くらいまで減らしてくれて、かなり努力してくれている状況です。

3-2

意見なし

【司会】横田様、決算書から何か意見などありますでしょうか。

【評価者】決算書というより、小戸作業所と川西作業所とさくら園と、行政側として例えばその部分で、施設はそれぞれ違うんですけど、トータルの歳出を考えたときに、さっきの2-3①の一次評価で収支のバランスをとって、収入のない事業についてその必要性を評価し、全体の収支を評価されたいとあるんですけど、収入のない部分を切り捨てるという方向で書かれているのか、それとも全体を見たときにこれも必要だけど引き続きすべきだというふうにお考えなのか、これは行政側の話やと思うんですけども、ちょっと聞かせていただいてもいいですか。

【事務局】収入のない部分を切り捨てるわけにはいかないもので、指定管理をさせていただいております。相談支援っていっても計画につながらない相談支援がかなりあるので、それで残業も非常に増えている状況でもあります。必要なサービスは公的のものというかたちでもって対応していくというところなんです。ただ来れるかただけへのサービスになって・・・来れている方は非常に満足できるんですけども、そこを深掘りをもうちょっと浅めにして、これる人を増やすという、それが収入につながるっていう方向では考えていきたいと思っております。

【評価者】ありがとうございます。収支の採算が取れているところ取れていないところという施設毎の評価っていうのは分かるんですけど、市として全体的にトータルで見ると評価をすべきなんじゃないかと思ひまして。全体的に考えた時に行政としてどういう評価が出るのかっていうのは気になるところで、ここではC評価となっているけれどもトータルを見た時には良い評価になるとか、そういうふうな話になっていくのではないのかというところが気になったなあと、いう次第であります。

【事務局】ご指摘はごもっともだと思います。トータルの評価としましてですね、こども支援課長も申しましたとおり、指定管理にさせてもらって、社会福祉協議会にというかたちにさせてもらっているところが、これはやはりお金に換算できない部分も含めて、これは市と社協でやっていこうかなというところで、ある意味もうそれはしていかなあかんという評価、社協さんにやってもらわなあかんという評価をしておると。それを前提とした上で、では際限なく深いサービスをしていくのか、あるいはそこはやはり深さと広さの両方を兼ねないと、その辺のどの辺のという部分で個別に評価をさせて頂いているところで。考え方としてはですね、今はやはり社会福祉協議会、指定管理をさせていただくのが一番いいという、ただですね、将来的には民間事業でもらえるところが出てくるのであれば、考えていかなければならないのかなと頭の片隅には置きつつ、現在のところは社協さんにという評価をしておるところでございます。

【指定管理者】ここで今ご指摘いただいた2-3①のところなんですけれども、私どもが自己評価をCにしておりますのは収支、6年度で1億円を超える赤を出していると思います。これはこの流れでもっともっと増えます。これをそのまま置いておくわけにはいかないというところなんです。で、先ほどもうしましたように、赤字をずっと利用者数が減っていく部門は、計画相談にどんどんどん入れている部門は、今はそのマンパワーをこ

っちからこっちへ動かそうとしています。それによって今計画相談数を拡充するだけでも、来年度の見込みだけでも、1億4千万以上の歳入増となっております。これをさらに進めて行くと、もっと相談支援専門員も増やしていきますので、もっと歳入の方は上がっていきます。とはいえこちらこっち側の、園の方をほっとくんかというわけにもいきませんので、先ほど言っているようにこの療育というのはどう残しながら新しいさくら園にもっていくのか、これを職員とともに話し合っているところです。ただ今の人数の現状から見て、私が申しました3名の社会福祉士等の資格をもっている職員を、相談支援専門員のサポート、相談支援として活動することによって相談件数を増やしていこうと受けるケースを増やしていこうと、そんな取り組みを今しているところです。市の方はそれを分かっているはずですが、こういう評価で、読ませていただけたけれども何を書いているのかさっぱり分からなかったんですけども、どういう思いなのか市の方から何か一言あるんじゃないかなと思います。

【事務局】ここまで社協さんに、さくら園さんに地域支援チームっていったって保育側のチームなんですけども、相談支援の相談件数が非常に多くなってきて、という状況であるんですけども、その部分を保育士さんが相談支援の応援にってもらえる、保育士としてプロ意識をもって務められている方々が、さくら園のために異なる職種の業務の応援に頑張ってくれてるというのがすごい、ここまでしてもらえるととは思ってもみなかった状況です。今後そうやって収入の増につながって市の負担が減る。保育の方についても改革に手を付けていただいている、今年度の取り組みは非常に驚いております。すみません、ありがとうございます。

【事務局】担当の方からも一言お伝えさせていただきます。川西さくら園さんは属性が多くありまして、条例で定めている総合福祉センター一部の機能であったりとか、児童発達支援センターという現時点の役割だったりとか、さまざまな機能をお持ちです。その中で過去長くやっていただいている中で、収入が入ってくる事業と川西市独自で、さくら園さん独自でやってこられているものから、最近この令和6年度に法改正で役割が非常に増えて、やらなければならないことが増えた。ただ人員配置はそのまま継続というかたちになっておりますので、過去にやっていた事業の中で、市にとってはプラスだったのもあるんですけども、これが基本強化されたことで、優先順位をつけていかなければならなくなったときに、条例で示している役割、児童発達支援センターとしてやらなければならない役割、からはみ出ているものをどこまで継続してやっていくべきかというのは、考え方としてはやっぱりないといけない。ちょっとその代表例として総合相談というのは書かせていただいたんですけども、私も10年ほど事務をやっている中で、この必要性は非常に高いというのは分かっておりますので、名前をちょっと出させていただきましたが、これがという訳では決してないというところをご理解いただきたいと思っております。ただし、全体を俯瞰して見た時に、収入のない事業についてという観点では必須かなというふうに思っていますので、このように記載させていただいた、このような次第でございます。よろしく願います。

総合評価

【司会】最後に総合評価についていかがでしょうか。

【評価者】今までもご意見をさせていただいてお答え頂いてということで少し見えてきたこともあるんですが、問題が次年度以降改善が必要な点というふうなところで、定員30名のところ、1日の出席者数平均は25名で定員には達せず、収益が減っているというところで、いわれた先ほどの、これからの展開の中でどう捉えていったらいいのかというふうなところと、地域の中間的な役割、基幹型的な働きもあったり、総合相談的な受け止めをなさっているところもあるんだろうなど。そして不登校であったり引きこもりであったり、そういうところも含めてご相談されて、いい働きをされているんだろうなど思いました。その一方で、計画相談等を900件作って1人110件というふうな件数をあげておられます。結構加算も今しっかりとれるようになってきましたので、本当に常務理事がおっしゃっていた収益がすごく見込めていくんじゃないかなというふうに思っています。そして、保育所等訪問支援の方も割と比較的とりやすくなってきましたし、月に2回まで算定できるようになってますし、時間は2時間で取れていくというようなこともありますので、専門職の方が今後小学校であったり中学校に

放課後デイさんなんかを置いてとれる加算でもありますので、そこもしっかりにらみながら今年度取り組まれていると思うんですが、一度またできるところを強みとして生かしていただければと思います。

【司会】特にないでしょうか。これをもちまして川西さくら園についての評価を終了させていただきます。ありがとうございました。ではさくら園の担当の方はご退席願います。

満寿荘

【司会】続きまして養護老人ホーム満寿荘の評価に移ります。まず評価者のご紹介をさせていただきます。社会福祉法人キリスト教ミード社会館理事長の吉岡様です。続きまして、税理士の横田様です。続きまして、満寿荘利用者の高詰様です。続きまして、施設担当者2人の自己紹介をよろしくお願いいたします。

【指定管理者】園長の中井です。よろしくお願いいたします。

【指定管理者】馬來です。よろしくお願いいたします。

【司会】続きまして、事務局と兼任になるんですけども、担当課職員の方を紹介させていただきます。地域福祉課長の曾我でございます。続きまして、地域福祉課の加藤でございます。司会と兼任になるんですが、担当の藤原と申します。よろしくお願いいたします。本日は評価会議と題して開催しておりますが、会議という堅苦しいものではなく、日頃の施設運営に関する意見交換会として、考えていただきたいです。それでは各評価項目に対し、忌憚のないご意見をよろしくお願いいたします。評価項目に沿って、満寿荘の評価をまいります。

1-1

【司会】まず 1-1 施設の設置目的である事業運営の達成についてご意見ある方いらっしゃいますでしょうか？

【評価者】現在定員は何名なんですか。

【指定管理者】50名です。

【評価者】50名中令和6年度は15名？

【指定管理者】令和6年度末で13名です。

【評価者】令和7年度の現在は12名ですね。課題のところで、稼働率が26%と非常に低い状態ですと。その状況の中でも改善内容として、セーフティネットとしての役割をPRもしながら取り組んでいたということですが、具体的にどのような問い合わせがあったとか現状を教えてくださいてもよろしいでしょうか。

【指定管理者】春から地域包括支援センター及び介護支援事業所、病院の方にもお話しさせていただいてPR活動を行いました。行った後は相談件数が毎月10件くらい来るようになりました。

【評価者】実際につながったケースは問い合わせの中で何件くらいあるんでしょうか。

【指定管理者】月に1~2件ですね。

【評価者】ということは1年間で20件くらいは？

【指定管理者】ですが、現在は件数が減ってきています。出口支援を同時に行っておりますので、退所者数も増えてきているという状況です。

【評価者】月に10件近くあるということはニーズはあるということでしょうか。

【指定管理者】はい、あると思います。ケアマネ等が、対象者のことをあまり把握していない段階で相談をあげてくることもあります。そういう方も入所の相談につないでいこうと取り組んでいます。

【指定管理者】具体的にお話しさせていただきますと、具体例を地域包括支援センターやケアマネージャさんにお伝えさせていただくようにしております。例えば、この数年間、夏が非常に暑い中、エアコンが上手に使えない、壊れたまま治していないといった方が何回も救急搬送されるという話を病院からお聞きしております。そういう方が在宅で安心して生活するのは難しいので、そういう方の命を守るために、措置という形でご利用いただけることを具体的に周知をしたところ、様々な相談が来るようになりました。今までも同じような困り事があったはずなので、そういう方々が一時的に来られる場所として満寿荘があるということを改めて周知することで、

相談が増えているように感じます。併せて先ほど園長が言いましたように、養護老人ホームなので、一定の環境が整ったり、ご本人様の日常生活を送る不安が軽減されてきたら、環境を整えて地域にまたお戻りになる。いわゆる出口支援というものをこれまで以上に意識するようになってきましたので、措置で入所される方は一定数いらっしゃると思いますが、退所される方も一定数いらっしゃる。その流れは健全な施設の運営になっていると評価をしています。ただし、定員に対して入所している方の人数が少ないですので、そこが課題になっているのは間違いありません。

1-2

【司会】施設の利用状況及び事業への参加状況について、ご意見ある方いらっしゃいますでしょうか？

【評価者】1-2①新規入所が2名だけになってしまったと書いてありますが、また他の所とリンクするところもあるので、併せてご意見とかささせていただきますねと思っております。

1-3

【司会】利用者の満足度についてご意見ある方はいらっしゃいますでしょうか。

【評価者】指定管理の社協さんと行政の評価がかなり違うので、それぞれの考え方っていうのをお聞かせいただきたいです。例えばアンケートを実施されてその結果は、行政はどのタイミングで把握しているのか。今までの施設もですが、例えばアンケートを10月に実施されましたと、その結果を行政は年度末にしか把握しないとか、それとも都度把握しているのかお聞かせいただければと思います。

【事務局】アンケート結果に関しては恥ずかしながらこれまで確認していないので、これからは食事項目以外のものも含めて、評価のために提出を求めることを考えています。

【評価者】他の施設もですが、評価してきたアンケートを行政側は見えていないということですか？

【事務局】申し訳ありません。把握できていなかったですが、今後改善していきます。

【評価者】アンケートの結果を見ないのに評価なんかできないじゃないですか。例えばどういう内容のアンケートを実施して、どういう答えが返ってきているのかっていうのを見て、初めて評価できると私は思うんですけども、そこはどうお考えですか。

【事務局】様々な業務報告書を確認する、あるいは決算報告等の会議に出席していますが、アンケートについて、利用者がどう答えているか、間接的には日々やりとりしていますが、直接回答を確認するということは、おっしゃるとおり行っていません。そこは改善を図って参ります。

【評価者】社協さんとしては行政にアンケート実施したという報告はされないんですか。

【指定管理者】アンケートの結果は、施設側で集計を実施し本部へ報告します。本部で回答の確認を行い、結果に対する改善案が施設へ回って参ります。回答と結果につきまして、市の方に提出することにはなっておりませんでしたので、報告はできていません。

【評価者】それはそれでいいと思われませんか？

【指定管理者】今までの考え方としては、アンケート結果を施設運営の改善につなげるために実施していました。なのでアンケート結果を報告は行えていませんでした。

【評価者】指定管理者の方はA評価、B評価が多いんですけど、行政側はC評価が多い。ここに関しては情報の共有ができていなかった結果だと思うんで、評価内容に関する詳細よりも、指定管理をお願いしている業務なので、行政は、アンケートとフィードバックの内容を把握すべきじゃないのかと私は思います。

【事務局】おっしゃるとおりでございます。アンケートから抽出した問題点を確認できていないのはそこは課題でございますので、連携してしっかりと情報共有させていただきます。

【評価者】③の利用者の苦情に対してというところで、指定管理者の方は「その都度、迅速、適切に対応しました」ということですが、評価者の方は「苦情の報告がなかったので今後報告をお願いします」と書かれているん

ですが、ここは必要性はあるんですか。苦情があった場合にはその市町村に届け出をするという義務はあるんでしょうか。

【事務局】それはございます。業務報告書にて、記載をいただきたいと思っております。

【評価者】入所者の苦情にその都度対応したというのは、実際にはどうですかね。

【指定管理者】入所者の方から施設に対していろいろな声がありますので、その都度対応してケース記録に記入するという形で対応しているところです。

【評価者】それも必要に応じて、対応しましたと報告すれば現状を分かって頂けるかなと思います。

【事務局】業務報告書では、そういうものは載っていませんけれども、ケース記録を共有いただいたときにはすごくきめ細やかに書いて頂いたりするので、飽くまで業務報告書のところにそういった記載がなかったということで、このような評価にしました。他に1-3でご意見ある方いらっしゃいますでしょうか。

【評価者】④のところで評価者の方が、入所者の表情などを見ていると、日頃から意見や希望を聞いて反映されているのだろうと察するところがありますというのは、どこで評価されたんでしょうか。

【事務局】満寿荘に訪問して利用者さんの表情などを見る機会があるんですけれども、その時に皆さんいい表情をされているので、飽くまでそういった表情等から読み取れる部分について書かせていただいているところです。やはり客観的な評価ができるかたちでの報告で判断したいというところもありますので、C評価とさせていただいております。利用者の高齢様は実際ご利用になられていて、なにかご意見等あれば。

【評価者】私は満寿荘に入ったはじめのときは何も思いませんでしたが、いい施設やのに入ってる方が少ないのがもったいないなど。環境的に今の時代、新しい施設ができてそれに押されてるのかなど。この施設は景色が最高で、朝日がバアアっと、それに私は感動して手を合わせてるくらいで。それに植木もいっぱいあるし。私もいっしょに掃き掃除したいくらい。まあ広い広い施設でそれに圧倒されるくらい。私は今すごく満喫して生活させてもらって。食べ物もおひたしやなんや色々あって手こんでますやん。けっこうやなど私やみんなは喜んでます。94歳のおばあちゃんとか、すごく親切にさせていただいてありがたいいうて、手を合わせていうてはるのきいてたらね、未来の姿やなどと思って。私は喜んでます。

2-1

【司会】2-1 経費の節減について、ご意見のある方いらっしゃいますでしょうか。

【評価者】課題のところなんですけど、築35年以上経過した建物であるということなんですけど、具体的には築何年なんですか。

【事務局】築41年になります。

【評価者】市の減価償却年数は47年だったと思うんですけれども、45年でしたかね。

【事務局】鉄筋コンクリートですので、50年くらいだと思います。

【評価者】その中で41年経過し、老朽化・経年劣化による修繕が増加しておりますと。小規模の修繕では対応できないというコメントがありつつ、そして一次評価の方も軽費の節減ができないことも想定されていますが、状況に応じたその都度の修繕では追いつかないということだと思んですが、そのあたりはどうお考えでしょうか。その都度の安全管理もしつつ、それでも追いつかない大規模な修繕の必要性があるということ、どういう方向性で考えておられるんでしょうか。

【事務局】おっしゃって頂いている通り、先ほどもひまわり荘の空調の際にご説明しましたとおり、設備において大規模な改修が必要になってきています。建物自体も建築されてからほとんど大きな改修をしていませんので、外壁とか屋上等にも大きな課題を抱えております。今、市の中で検討しておりますのは、後ほどの評価項目とも関わってきますが、養護老人ホームのあり方自体をどうするかということです。先ほどご説明がありましたけれども、ニーズは一定数あるかと思えます。物価高騰と、周囲の方とのつながりが薄れてきている中で、1人で過ごすということが難しい方も増えて来るだろうから、今年から病院等と連携しながらニーズを捉えていこうとし

ていますが、同時にかなり大きな指定管理料を負担しながら独立で持つ必要があるのかということも長期的な話ですけれども、考えていかなければならないです。ただ現在皆さんは生活が本当に苦しい状況から脱却するために入所していただいていますので、当面快適に過ごせるように改修するのは引き続き考えていかないといけないです。一方で、長期的な視点では、どうしていくべきかという課題もあります。施設を可能な限り持続的に利用するという考え方もありますし、また別の方向性についても検討する必要があります。ただ、当面必要となる改修は計画的にしようと考えており、今年、もしくは来年には何とかできるように調整しています。

【評価者】概算については見積もりをとられた実態はありますか。

【事務局】はい。最近施設担当の職員と一緒に現地調査に行きました。例えば10年くらい維持するために、内外壁や屋上等を全部改修する場合、低く抑えても2億円ぐらいかかる見積です。特に屋上と壁は、かなり劣化していますので、大規模な改修になるかと思われます。それを1回にまとめて工事はおそらくできないので、何回かに分けて工事を行なう必要があると担当としては考えています。

【評価者】ありがとうございます。2億円近いということは担当課だけで判断するのは難しいですね。市長含め、どうしていくのかという判断と、また先ほど満足度が高いとご利用者のコメントもありましたので、その意見も尊重しながら今後の展開をどう考えていくのかということのも大事だと思います。築10年15年であれば修繕することでどんな効果があるのかわかりやすいですが、築41年たって修繕2億円という現状だと、ちょっとした修繕で安全が確保できるのか疑問が残ります。参考までに近隣の自治体の養護老人ホームはどんな状況でしょうか。

【事務局】さきほど部長の方から満寿荘のあり方自体を考えていかなければならないというお話があったんですけども、その際に近隣市の状況を伺いました。伊丹市さんについては令和4年に施設を新しくされまして、地域包括支援センターさんや病院さん等の様々な関係機関に営業を掛けられまして稼働率はほぼ100%に近いと伺っています。ただ一方で宝塚市さんの方にお伺いしますと、定員50人とあるもののなかなか利用者さんがおられないということで、入所者の確保については苦慮されているとお聞きしています。

【評価者】ありがとうございます。近隣自治体の状況も含めて今後の方針として、措置やセーフティネット機能といった大事な役割があることを考慮して、棲み分けをどうしていくのか。経済の困窮であったり、身体的・精神的な障がいをお持ちの方もいらっしゃる状況もあると思うのですが、介護付き有料老人ホーム等でも生活保護の方も利用できる実態があるというなかで、どこまで養護老人ホームの必要性を求めていくのかということを考えていただければと思います。

2-2

意見なし

2-3

意見なし

3-1

【司会】管理運営の実施状況について、ご意見ある方はいらっしゃいますでしょうか。

【評価者】D評価がついている①について、施設の配置基準を大幅に超える配置になっているということなんですけど、これは社協さんとしてはどうお考えですか。

【指定管理者】ここは確かにこの定数になってますので、本来直すべきところなのかなと思います。ただ社協の状況ととして、現在200人以上の職員を抱えていますけど、そのうち正職員は85人程でございます。ほとんど臨時職員とパートさんでお願いしていますが、本来もっと多くの正職員で活動したいところですが経費がそんなにかけられないということで、このような体制になっています。社協の都合になってしまっている状況でして、簡単に職員整理ができるような環境ではありません。これは市の方もよく承知の上だと思うんですけども、この

状況下で満寿荘のあり方自体も決まらない。こんな状況の中では正直手をつけられないというような状況です。とはいえ、こういう状況が長く続くようでしたら、解雇というかたちはとれませんが、それぞれ通常辞めるべき年齢に達するような状況になったときには、すぐに補充するのではなくて、適切な声かけは考えていく必要がもちろん指定管理者としてはあると、そのように思っているところです。

【司会】他に3-1についてご意見のある方いらっしゃいますでしょうか。

【評価者】先ほど大規模修繕のことで少し触れさせていただきましたが、本当にこのような現状であれば何か動いてないといけないと思います。、入所者も大切にしつつも、発展的解消であったり何らかの施策というのは早急に必要な状況なのかなと思いました。

3-2

意見なし

総合評価

意見なし

久代児童センター

【司会】続きまして久代児童センターの評価に移りたいと思います。まず評価者のご紹介をさせていただきます。社会福祉法人キリスト教ミード社会館理事長の吉岡様です。続きまして、税理士の横田様です。続きまして、久代児童センター利用者の坂本様です。続きまして、施設担当者の自己紹介をよろしくお願いいたします。

【指定管理者】所長の佐藤です。よろしくお願いいたします。

【司会】続きまして、担当課職員の方を紹介させていただきます。こども政策課長の野田でございます。続きまして、こども政策課の坂本でございます。こども政策課の瀧田と申します。よろしくお願いいたします。本日は評価会議と題して開催しておりますが、会議という堅苦しいものではなく、日頃の施設運営に関する意見交換会として、考えていただきたいです。それでは各評価項目に対し、忌憚のないご意見をお願いいたします。評価項目に沿って、久代児童センターの評価をしてまいりたいと思います。

1-1

意見なし

1-2

【司会】施設の利用状況及び事業への参加状況について、ご意見ある方いらっしゃいますでしょうか？

【評価者】1-2の利用状況のところで、色々とサービスをなさって全ての世代で利用者の人数が増となったということで、すごく取り組んでおられるなというのがよく分かりました。もし今後の取り組みの中で検討としてどこまでできるかというのと、ひきこもりの児童の居場所作りであるとかヤングケアラーのかたへの対応というふうなところが、働きの中の展開として考えられるのか、その辺少しご意見を聞かせていただければなと思っております。

【指定管理者】今のところヤングケアラーのかたへの対応ということまでは、正直言って考えていないというところはあるんですが、ただそれに特化した事業ではなくて、誰でも来れる、地域において誰でも児童センターを利用できるような取り組みっていうかたちの中で考えていければなど。その中にもしかしたらヤングケアラーのかたも出てくるかもしれませんけども、特化したというかたちでは今のところ検討していない状況です。

【指定管理者】指定管理を受けさせて頂いている社協としては、社協が受けている意味というのをやはりそこに盛り込む必要が絶対にあると思っています。なので、久代児童センター単体でヤングケアラーのかたへの対応を

するというのではなく、日頃の関わりの中で気になるお子さんや保護者さんがいらっしゃった場合、その方がなにか関われる部署の職員が必ずそこにつながるようなかたちをとっています。外国人のお母さんがいらっしゃって、日本語をなかなか学ぶ機会がないというお話しを聞いたときには、地域担当を通じてその方の対応に精通した方をつないで地域の中でつながりを広めていこうとか、そういうかたちで総合的に対応しようとしています。

【評価者】社協の強みを生かして対応していただければと思います。内訳では本当に小学生が816人増え、幼児も174、保護者の方も増えということで、素晴らしい数をあげておられるんですが、声の届かないようなところにも、次の展開として午前中に引きこもりの生徒さんなんかは学校には行きづらけれども、呼べるような、立ち寄れるようなところを地域と民生委員の方とか、そういうようなところの次がよりあるとまた違う働きが特徴付けになるのかなと思いました。どうでしょうか、一次評価者としてはこういった働きというのは。

【事務局】そうですね、主に今回児童館の解説をガイドラインが改正されましたけれども、関与配慮を要することもたちへの対応ということだったりということもありますが、先ほど社会福祉協議会もおっしゃったようにですね、社協でやっている部分も全部足強味をいかにして今後もやっていくのかなと思っております。

【事務局】ここでいうあれか分かりませんが、申し込みの際にフォームを活用するということと、これはどこが作ってもらえるのでしょうか。

【指定管理者】児童センターです。

【事務局】フォームで返信が返ってくるパターンと返ってこないパターンがあるみたいで、返ってこないパターンがあって、返ってくるパターンになって、今年また返ってこないパターンにまた戻ってしまったみたいな感じのことをいう職員の方もおられるので。そうすると保護者から見ると申し込みました、申し込んだところまでは分かっているはずだったんですけど、私は通過していたけど、同じことをしていた友達は通過していなかったみたいなことが起きてて、多分2年度前くらいのときは全員返信が来なかったから全員に当落の電話がかかってきたみたいなことを言っておられて、去年度は返信がきたので受かったかな、落ちたかなという感じになっていた。今年を受かった人だけ電話があった。受かってなかった人には電話がなかったから「私あかんかったんかな」という話で、たまたま児童館を次利用した時に聞いたら、受かった人の定員数の中の連絡先しか知らない、だからその方から申し込みがあったかはわかんないということだった。その方は名前も顔も職員さんが分かっている方だったんで、名前はなかったですみたいな感じであとで分かったんです。これはGoogleフォームの仕様かもしれないのでここでいうべきか分からないけれども、他の市のイベントに申し込んでも返信のあるやつもないやつもあるし、何かLINEに登録したらLINEには返信のあるやつもあるし、結構仕様はさまざまなので、施設でどうしてほしいっていうよりも、市とかのフォームの使い方で返信のあるやつは保護者としては分かりやすいし、ありがたい。担当の人も電話するのも大変だと思うので。

【指定管理者】返信フォームのことなんですけれども、システム上の関係でうまくいっておりません。ただ、Googleフォームを利用して申し込まれた方については、確実に3日以内には必ず、申し込んでいただいてありがとうございますというふうなご連絡を今は入れさせて頂いております。それも坂本委員がおっしゃられたように、全員それをやっていくので、大変なんじゃないかなということで私も職員に聞いたことはあります。ただ私どもは児童センターっていうか支援拠点の1つでもあって、その電話の会話を通してお子さんの様子であったり、お母さんとのコミュニケーションを取るために必要なんだっていうことで聞いてまして、そのような状態になっているという現状でございます。

【事務局】市の方も統一感がないという話がありましたんで。私も初めてそういうふうなことがあると聞きましたので、庁内にそういう問題があるという問題提起をしておきますので。ありがとうございました。

1-3

【司会】利用者の満足度についてご意見ある方はいらっしゃいますでしょうか。

【評価者】1-3は①以外の評価はすべてAということですが、その根拠はなにかありますか。

【指定管理者】Bを付けた根拠としては、1月7日から1月31日の延べ21開館日というところで、アンケートの回答人数がすくなくかったというところです。アンケートの表現方法についても、児童から分かりにくいという声を聞きまして、例えば久代児童センターってどんな場所って聞いたときに我々であれば答えられると思うんですけど、小学校1,2年生に対してはどんな場所って言われても抽象的すぎて回答が困難であるという様子で、頭をかしげるようなケースがよく見られました。質問内容の表現方法を変えないといけないと感じましてBというふうな状態でございます。

【評価者】一次評価者としてはどうでしょうか。

【事務局】一次評価をさせていただく際にですね、指定管理者へヒアリングをさせていただきまして、おっしゃっていただいたところをご回答いただきましたので、Bという評価をさせていただきました。

2-1

意見なし

3-1

【司会】3-1 管理運営の実施状況について、ご意見ある方はいらっしゃいますでしょうか。

【評価者】課題の部分で、自転車で1階の廊下を走りまわるなどルールを守らない児童への対応が課題ですと、これは具体的にどのような対応をなさっておられるでしょうか。

【指定管理者】職員が制止して外に出して注意したというかたちで大事にはならなかったんですけど、同様のことが起こりましたら、今年度は不審者研修とかさまざまな研修を受けておりますので、その時に警察の方とか中学校からもそういう生徒がいたら是非連絡してくれと、こども政策課からも言われてますので、本部も含めて全体で対応していきたいと、早急に連絡をして対応していきたいと考えております。

【評価者】幼児や児童は色んな方がいらっしゃいますので、十分気をつけていただきたいと思います。

3-2

意見なし

総合評価

意見なし